

製品名: OBCAM ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15088**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	OPCML
別名	OPCML; IGLON1; OBCAM; Opioid-binding protein/cell adhesion molecule; OBCAM; OPCML; Opioid-binding cell adhesion molecule; IgLON family member 1
遺伝子 ID	4978.0
SwissProt ID	Q14982
免疫原	抗血清はヒト OBCAM 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 152-201

背景

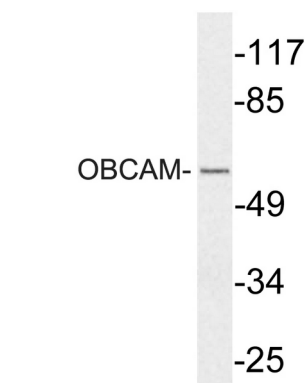
この遺伝子は、免疫グロブリンタンパク質スーパーファミリーの IgLON サブファミリーのメンバーをコードしています。コードされ

ているプレタンパク質は、タンパク質分解によって成熟タンパク質を生成します。このタンパク質は細胞膜に局在し、オピオイド受容体機能において補助的な役割を果たす可能性があります。この遺伝子はラットとウシに相同遺伝子を持っています。ラット遺伝子によってコードされているオピオイド結合細胞接着分子は、酸性脂質存在下でオピオイドアルカロイドに結合し、 μ リガンドに対して選択性を示し、GPI アンカー型タンパク質として機能します。コードされているタンパク質は進化の過程で種間で高度に保存されているため、哺乳類のシステムにおいて基本的な役割を果たしている可能性があります。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはタンパク質分解によって処理されるアイソフォームをコードしています。[RefSeq 提供、2016年1月]、疾患：OPCMLの欠陥は卵巣癌と関連しています[MIM:167000]。卵巣がんは、婦人科悪性腫瘍による死亡原因の第1位です。進行期の病変で、腹腔内への局所領域播種を呈し、まれに内臓転移を呈することを特徴とします。これらの典型的な特徴は、転帰の主要な決定要因である疾患の生物学的特性と関連しています。機能：酸性脂質存在下でオピオイドに結合し、おそらく細胞接触に関与しています。類似性：免疫グロブリンスーパーファミリー (IgLON ファミリー) に属します。類似性：3つのIg様C2型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、

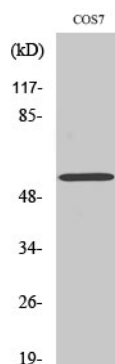
研究分野

細胞接着タンパク質、膜タンパク質、神経科学、神経伝達、受容体/チャネル、GPCR、オピオイド受容体、がん、腫瘍タンパク質/抑制因子、腫瘍抑制因子

画像データ



OBCAM 抗体を使用した COS7 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



OBCAM ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。